

NPO法人 サンレジデンス 第5期

上半期 活動報告

1. 月別の入居・退去者について

	入居者数	退去者数
10月	2名（男性2名）	2名（男性1名、女性1名）
11月	0名	0名
12月	2名（女性2名）	3名（男性1名、女性2名）
1月	0名	2名（男性2名）
2月	1名（男性1名）	3名（男性1名、女性2名）
3月	1名（男性1名）	2名（男性2名）
計	6名（男性4名、女性2名）	12名（男性7名、女性5名）

※平成31年3月末現在 入居者 82名

2. 退去者の内訳について

- ・失踪 3名
- ・家賃滞納 2名
- ・死去 1名
- ・DV被害による一時避難完了 2名
- ・他物件へ移動 2名
- ・グループホームへ 1名
- ・薬物依存脱却専門施設へ 1名

3. 入居者の紹介ルートについて

- ・札幌市東区役所 1名（40代男性1名）
- ・(株)HOT保証 2名（30代男性1名、60代男性1名）
- ・相談室みなみ 2名（20代女性1名、40代女性1名）
- ・北広島サポートセンター 1名（60代男性1名）

4. 他団体との連携・協力について

- ・札幌市内の保証会社ホット保証より、SUNの活動内容について照会があり、賛同して頂いた。それにより、2名の困窮者支援要請があり、入居に繋がった。

5. 年度事業計画における重点設定事項に対する成果と課題

① 賃料当月発生額の確認

- ・前期より行っている入居者個別の家賃回収表の活用に加え、活動収支計算表を作成した。月別、累計の収支が活動を行うに当たって適正な金額になっているかを

確認することにより、スタッフの数字に対する意識を高める仕組みを構築した。

- ・第5期上半期の累計の収支は約70万円の赤字になっている。下半期に向け、いかにこの金額を回収していくか、さらに検討が必要。

② 就業支援の強化

- ・平成30年10月、(株)札幌清掃にて就労中の50代男性入居者が、収入が安定したため、生活保護を廃止し、自立生活に移行した。
- ・平成31年1月、農作物出荷作業で就労中だった50代男性入居者も生活保護を廃止し、自立生活に移行した。

③ 社会に対する活動アピール

- ・昨年1月末に起きた札幌市東区の困窮者支援施設の火災事故から一年が経った時期に、いくつかのマスコミからの取材依頼があった。朝日新聞にはサンレジデンスの活動の一部が掲載された。

④ 個別ニーズに対する対応強化

- ・病院や役所等の送迎、家賃回収時の安否確認等、スタッフ3人それぞれの担当範囲、役割分担がある程度明確になってきたが、情報共有という部分ではまだまだ改正の余地あり。

⑤ 法人運営、継続、資金の確保

- ・家賃回収額の目標数値(350万)を設定したが、退去者が多かった為、達成できた月は無かった。

⑥ 運営の基本心得、努力目標

- ・色々な工夫をしているが、活動資金の重要性について、まだまだスタッフの意識が低い。更に危機・問題意識を持って活動しなければならないと感じた。

⑦ レクリエーション

- ・平成30年10月5日、第8回SUNパークゴルフ大会を開催した。さとらんどパークゴルフ場、参加者12名。

作成日 平成31年4月13日
NPO法人 サンレジデンス
松下 和広